

## 同和問題とは

同和問題とは、我が国の歴史的発展の過程において形成された身分制度により生まれた問題であり、同和地区・被差別部落という特定の地域の出身者であることや、そこに居住している又は過去に居住していたことを理由に、結婚に反対したり、婚約を破棄したりする結婚差別や就職差別など、様々な不利益や差別を受け、基本的な人権が侵害されているという日本固有の人権問題です。

同和問題は、差別される側の問題ではなく、差別する側の問題です。人々の意識の中に存在する予断や偏見がなくなる限り同和問題は解決しません。

### 〈「同和」という言葉〉

昭和天皇の即位の際の詔勅の中に出てくる「人臣惟レ同じく民風惟レ和シ」から生まれ、その意味は家柄、門地、血筋あるいは、社会的身分の別なく、国民は等しく、慈しみあらねばならないという発想に基づくものと言われています。

なお、「同和」という言葉は「同和問題」「同和教育」など複合語として使用されますが、「同和」といった単独で使用することは差別的な使われ方をした経緯があり、差別性を含む表現として問題があります。

金 沢 市

## 同和問題の解決に向けて

同和問題を解決するために、同和対策事業や地域改善対策事業が行われた結果、生活環境や住宅環境整備は大きく改善されました。しかし、依然として、差別落書きやインターネット上での差別書き込みが見られ、結婚や就職等についても根強い差別意識が残っています。特に、結婚など身近な問題に直面したときに、正しい判断による行動ができないという現実から、結果的に差別をしてしまうという事実があります。

私たち一人ひとりが一層理解を深め、自らの意識を見つめ直すとともに、因習や偏見、世間体などに縛られず、自らを啓発し、問題解決のために実践していく必要があります。

金 沢 市

## えせ同和行為を排除するために

「同和問題は怖い問題であり、できれば避けたい」という誤った意識につけ込み、企業や官公署、時には個人にまで不当な要求などをする「えせ同和行為」は、同和問題に対する誤った意識を植えつけ、同和問題の解決を遅らせる大きな原因となっています。

排除すべきは、同和問題を口実にして不当な利益や義務のないことを要求する「行為」です。

不当な要求を受けたときは、毅然とした態度で拒否し、えせ同和行為を排除し、部落差別のない社会を作っていきましょう。

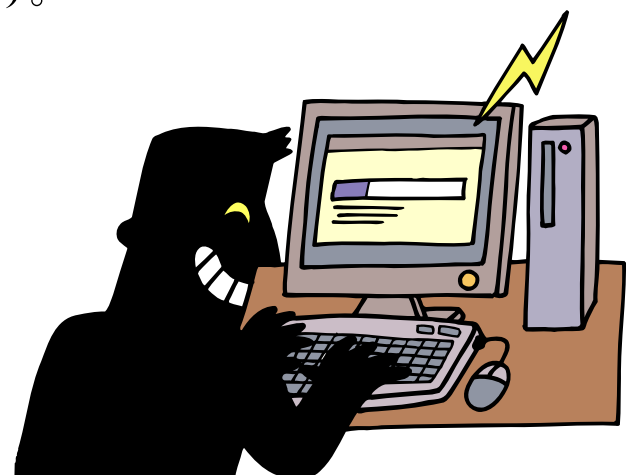


金 沢 市

## インターネットの悪用を許すな!

近年のインターネットの普及に伴い、その匿名性、情報発信の容易さから、インターネットの掲示板等に、差別を助長する表現が掲載されるなど、人権に関わる問題が発生しています。

個人の名誉を傷つけたり、プライバシーを侵害したり、差別表現をすることは人権侵害となります。お互いの人権が存在することを自覚し、インターネット利用者としてのモラルを守りましょう。



金 沢 市